

セミナー報告

令和4年度 男女共同参画セミナー②

『女性相談員に学ぶ DV 防止』

開催日 11月19日(土) 10時～12時

会場 ルミナス 第1・2・3会議室

講師 おか た え こ
岡 多恵子 さん(特定非営利活動法人アジア女性センター理事)



【講師プロフィール】

福岡市家庭児童相談室相談員として25年間従事。様々な相談に取り組む中で、その根底について回ってくるDVについて理解と認識を深める。現在は「アジア女性センター」にて理事及び困難を抱えている女性たちへの相談員を勤めている。公認心理士。社会福祉士。

《セミナー概要》

DVは、夫婦など親密な関係にある人からの暴力です。

DV加害者は、相手の優位に立ち、自分の思い通りに支配するための手段として、あらゆる力と権力を繰り返し使います。

- ・身体的暴力 (殴る、蹴る、物を投げる)
- ・精神的暴力 (脅す、突然怒り出す、暴言を吐く、見下す、物にあたる、相手のせいにする、罵る、無視する)
- ・性的暴力 (性的行為の強要)
- ・経済的暴力 (生活費をいれない、仕事をさせない)
- ・社会的暴力 (外出先や人と会うことを管理・制限する)

加害者の何かあれば暴力を振るってもいいという価値観、ゆがんだ考え方(自分は常に正しい、相手を導いてやっている、自分には特権があって当然だと思っている等)が原因で起こります。

被害者はその恐怖体験により、自分で考えて判断する力、自信、自尊心、それまでの人間関係を奪われます。また、被害者の多くは女性ですが、加害者が子どもにも暴力をふるっていることも少なくありません。たとえ、暴力が子どもに向かっていなくても、子どもの前で配偶者に暴力を振るうことは子どもにも深刻な影響を与え続けます。(児童虐待防止法)

DVをしない・されないために必要な第一歩は、「気づく」こと。「力と支配」「暴力容認(理由があれば暴力は仕方ない)」「ジェンダー・バイアス(社会的に作られた女らしさ・男らしさの偏った見方)」といった間違った考え方をやめて、相手を「対等・平等」な人として認めましょう。

そして、ひとりでも多くの方がDVの本質や起きる要因について、知ることが社会からDVをなくすことに繋がります。DVは犯罪です。被害者は、ひとりて抱え込まずに相談してください。どんな人も、自分を大切に、自分らしく生きる権利があります。と、長年相談員として携わっている思いを込めて話された。

《参加者の感想》

- ・ ジェンダー・バイアスについて、あらためて勉強できたと思う。男らしさ、女らしさは、自分で選ぶ。自分らしさを、今まで自分には全く関係ないこととと思っていましたが、多少そうとも言えないかも……。
- ・ 身近では聞かないので「DV」の詳しい背景が分かって、今後は理解して、接することができると思う。夫婦間だけでなく、子どもを含む「家族」の問題。
- ・ たくさんの自分の意識に気づくことができました。周りで思いあたる事もあります。自分らしく生きるチカラをもっと身につけていきたいです。
- ・ 相談員の方が受けた事例の紹介をまじえながら、DVの背景が大変分かりやすかった。家庭は自分がゆっくり過ごせる場であるのに、辛い時間が流れる家族の相談に、向き合える法律ができて 20 年ほど。ジェンダー指数もまだまだ低い日本の意識が、北欧の福祉に少しでも追いつけるよう、日本の社会と個人の価値観が育って欲しいです。
- ・ 日々相談にのって下さっている方だけあり、具体例をいろいろお話し下さり、わかりやすく、理解できました。世の中、悩んでいる方が多い中、私はなんと自由にらせているのかと感謝しました。たった 1 人の配偶者がそんなに影響を与えるとは、まわりで悩んでいる人や虐待を受けている人に、思い込みなど捨てて、心から話を聞いてあげたいと思いました。福岡にもぜひ「Aware」を作ってほしいですね。この存在も今日初めて知り、参考になりました。
- ・ とても具体的にわかりやすい講義でした。資料もたくさんあり、ありがとうございます。自分の事、気がつかなかった事がたくさんありました。
- ・ DV が当事者間の問題ではなく、背景として、社会のあり方、文化、男女不平等が引き起こすことだと解った。日頃の学び、人権への気づきが大切である。
- ・ 九州男児は DV 加害者の素を十分に兼ね備えていると思います。それに対抗するには、Un learn が大切で、対等な関係の構築を目指すべき⇒平等・不平等な社会
- ・ DV とは、すごく奥深い現象(?) ですね。DV をする男性は、もうなおらないのですか。性格を変えれば治るのかな?
- ・ 自身の内観、昔の思い出して、DV が有った様でした。
- ・ DV を知ることは、社会から DV をなくすことになる。(印象に残った言葉)
- ・ 社会、家庭、どこでも DV がありうるので、人間がジェンダー平等について、もっと勉強し、知識を深めていかないと無くならない。DV の実態はみえてきたが……。
- ・ この講座には男性の方にもっと多く参加してほしい。話を理解できる年齢の若者にもぜひ学んでほしい。(学校のカリキュラムにも組んでほしい)



※アンケートより一部抜粋